

第2回富士吉田市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会

会議録

- 1 日 時 令和7年2月19日(水)15時30分～16時30分
- 2 場 所 富士吉田市役所本庁舎3階大会議室
- 3 出席委員 15名(委員名簿順)
三浦雅彦副委員長、品田笑子委員、渡邊卓史委員、
宮下公雄委員、浅沼鎮雄委員、高山文委員、井上貴文委員、
舟久保秀美委員、山田雅基委員、勝俣彰仁委員、
伊藤秀一委員、三井康嗣委員、親田悠平委員、清水慶子委員、
加々美せつ子委員
- 4 出席職員 宮下教育委員会次長、井上教育研修所所長、
勝俣教育研修所課長補佐、柏木学校教育課課長、
渡邊学校教育課課長補佐、渡邊学校教育課課長補佐、
清水学校教育課課長補佐、羽田学校教育課職員
- 5 内 容 (1) 開会
(2) 副委員長挨拶
(3) 【議事】
 - ① 第1回会議録の承認について
 - ② 学校を取り巻く現状と課題
 - ア 通学路の状況(通学区域、複合学区、遠距離通学等)
 - イ 学校施設の状況等
 - ③ 学校教育環境に関するアンケート報告書について
 - ④ 「学校のあるべき姿」の検討に向けて
 - ⑤ その他(4) 閉会
- 6 配布資料 資料1: 適正規模・適正配置方針検討のながれ
資料2: 学校を取り巻く現状と課題②
資料3: 富士吉田市立小中学校の学校教育環境に関するアンケート報告書(概要版)
資料4: 富士吉田市立小中学校「学校のあるべき姿」の検討に向けて
資料5: 将来推計と多面的実態把握からのまとめ
その他: 第1回適正規模・適正配置検討委員会会議録

会議録

○事務局

第2回富士吉田市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会」を始めさせていただきます。

なお、本委員会の会議につきましては、委員全員のご出席をいただいております。委員設置要綱第5条第4項に規定されております定足数に達しておりますことをご報告させていただきます。

ここで、配布資料の確認をさせていただきます。

【配付資料】

- 資料1 適正規模・適正配置方針検討のながれ
- 資料2 学校を取り巻く現状と課題②
- 資料3 富士吉田市立小中学校の学校教育環境に関するアンケート報告書
(概要版)
- 資料4 富士吉田市立小中学校「学校のあるべき姿」の検討に向けて
- 資料5 将来推計と多面的実態把握からのまとめ
- その他 第1回適正規模・適正配置検討委員会会議録

皆様には事前にお送りさせていただいておりますが、不備等ございませんでしょうか。

本日は、廣田委員長が欠席されておりますので、議事進行を三浦副委員長にお願いします。

○副委員長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第3議事の(1)「第1回検討委員会会議録の承認について」です。

第1回会議録を承認することにご異議ありませんか。

○委員

<異議なし>

○副委員長

ご異議なしと認めます。

よって第1回会議録は承認されました。

次に議事(2)「学校を取り巻く現状と課題について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料1をご覧ください。「適正規模・適正配置基本方針策定のながれ」を再確認します。検討委員会では、第1回、第2回で富士吉田市の現在から10年後、20年の変化、課題の明確化を行います。第3回目以降では、適正規模や適正配置といった論点を設定しこれからの学校像について議論を重ね、9月に基本方針を策定します。

次に資料2の内容を説明します。

1 ページは小学校・中学校の配置状況を整理しています。全校が市役所を中心とした半径3.2km内に密集して配置されており、4つの中学校が小学校に近接しているなどが富士吉田市の特徴になります。

2 ページは学校配置と将来推計からの適正規模の検討です。1学校当たりの学級数を18学級とした学校数の試算は、現在、20年後においても、小学校、中学校ともに現在の学校数より少なくなります。

3～6 ページは、複合学区の状況です。本来の学区以外に複合学区が小学校11学区、中学校7学区配置されていますが、通学している児童生徒が少ないなど、機能していない学区が多くなっています。また、全国的にも取り組んでいる事例はほとんどありません。

7 ページは、通学距離、通学時間の状況です。4つの中学校区とも最も遠い児童生徒数は標準距離内から通学しています。

8～10 ページは、学校施設の状況です。学校校舎は69%が築30年以上なので、直近10年以内で改修、改築が必要になります。改修に係るコスト試算は従来型で40年間448億円、年平均11.2億円、過去の施設関連経費の3.1倍、長寿命型で40年間352億円、年平均9億円、過去の施設関連経費の2.4倍になることから、現状の財政ラインでは、現在の建物全てを対応することは非常に困難になります。

○副委員長

ただいま事務局から説明がありました。ご意見等ありますでしょうか。

○副委員長

それでは、議事(2)について終了といたします。

次に議事(3)「学校教育環境に関するアンケート報告」です。

事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料3をご覧ください。

学校教育環境に関するアンケート報告書の概要版には、実施概要及び、各設問の回答結果をまとめています。この内容は、第3回以降の検討委員会の論点を議論して行く際の参考資料となりますので、ご確認をお願いします。

○副委員長

ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等ありますでしょうか。

○勝俣委員

小規模校対策の学校ごとのクロス集計データはありますか。

○事務局

学校別にクロス集計したデータがありますので、ご提出します。

○副委員長

それでは、議事（3）について終了といたします。

次に議事（4）「学校のあるべき姿の検討に向けて」です。

事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料4をご覧ください。

1ページは国の計画等における基本的な理念等、2ページ、3ページは富士吉田市の基本的な理念等として、富士山教育憲章、第6次富士吉田市総合計画、教育大綱、学校施設長寿命化計画、令和6年度の学校教育指導重点を整理しています。

これらの基本理念等を踏まえ、富士吉田市立小中学校「学校のあるべき姿」についてご検討ください。

○副委員長

ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等ありますでしょうか。

小中学校において、今、重点的に取り組んでいる点をご説明いただければと思います。

○伊藤委員

市の施策を踏まえて、学校がどう取り組んでいくのか、学校でどのように工夫して行っていくのか重要だと思います。ICT導入による個別の学習の充実など、学習方法も変化しているので、教育のあり方などをみんなで考えながら協力して取り組んでいます。

○親田委員

アンケートにもありました小規模校のデメリットは学校も保護者も感じています。その中で教育理念にある教育内容や教育体制の充実近づけていくために、学校ではいろいろな取組みを行っています。

○三井委員

本市のICT教育は、各学校で一人1台タブレット配布ができており、タブレットを使用した授業も始まっています。静岡県先進事例となる中学校を視察したところ、全校生徒がICTを使って自主的に授業を受けており、先生は授業でのテーマや課題を伝えるのみで、生徒が自主的に進めている様子を見ていました。これは、どの教科でも生徒のタブレットの使い方やまとめ方を共通して認識しており、教師の評価がやりやすくなっていた点があると思います。

本市は小学校ごとに地域を教材とした特色のある教育を行っています。ICTを活用して学校の良さを残していくためには、学校の統廃合の議論ではなく、学校の適正な規模を保護者も含め納得できるような議論を進めていきたいと考えます。

○品田委員

基本的理念の中で最も優先順位が高いのは「安心・安全・快適な施設環境の充実」と考えるので、現状の施設の老朽化への対応は必要だと思います。

今の教育は、将来、現在より更に不透明な時代を生きていく子どもたちをいかに育てるか、ウェルビーイングを目指すことが必要です。多様な価値観に触れないとウェルビーイングを実現しないと言われていたので、ある程度の学校規模が必要だと考えます。ただ、規模を広げるだけでなく、そのような子どもたちを育てる教育の中身が重要なので、その中身がこれから議論する内容だと考えます。

○井上委員

子どもは今後も増えることはないし、今後の学校の施設改修コストを考えると学校再編は必要だと思います。学校再編を進める場合は、地域からの賛同ができるような手法で進めて欲しいです。地域が学校を支えるコミュニティスクールや、子育てのしやすい環境の充実なども取り組んで欲しいと思います。

○副委員長

各委員の方は、一人も取り残さない教育を行うこと、地域ならではの文化を継続していくことは共通していると思います。

それでは、第1回と第2回検討委員会の内容をまとめた資料5がありますので、事務局より説明をお願いします。

○事務局

資料5をご覧ください。第1回、第2回の検討委員会のまとめになります。将来推計から児童生徒数の減少、学校配置、通学区域、施設状況、学校施設・運営面での教育課題を整理しました。これらを踏まえ、第3回、第4回では、論点を設定して、「これからの学校像」を具体化する議論を進めていきます。

○副委員長

ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等ありますでしょうか。
それでは議事（４）はこれで終了とします。

以上で、予定していた議事は終了しました。その他として何かありますか。

○事務局

三浦副委員長、ありがとうございました。

ここで事務局から２点事務連絡がございます。

まず、１点目ですが、次回会議の日程です。次回は、５月を予定しております。
近くなりましたら、日程を通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

２点目ですが、検討委員会の委員につきまして、役職で委嘱されている方がおります。
新年度には役職を交代される場合があるかと思いますが、その場合、新しい方に委嘱となりますので、ご承知おきください。

それでは、以上で、第２回富士吉田市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会を終了いたします。